



みつけた!



赤塚山の古墳

赤塚山公園のある赤塚山では、明治42（1909）年に古墳から土器が出土したと伝えられ、周辺に古墳が存在することが推定されてきました。平成3（1991）年、公園の建設に先立って行われた発掘調査で、6世紀末から7世紀初頭の直径約17㍍の円墳である「赤塚山第1号墳」が発見され、これはこの地域の有力者の墓と推定されています。

古墳の主を埋葬した横穴式石室は鎌倉時代に壊され、副葬品の多くは持ち出されていました。石室の床面からガラス小玉200個や金銅装耳環2個が見つかりました。金銅装耳環は、直径2.4㍍の銅の環に薄い金の膜を貼り付けたもので、1,400余年の時を経たものとは思えない輝きを保っています。

赤塚山公園の歴史エリアには、古墳のような小山がありますが、これは古墳ではなく、その地下に赤塚山第1号墳が保存されています。また、公園の東にある東池の北側でも古墳が発見されていて、こうした古墳の存在や赤土の山肌が「赤塚山」の名称の由来となったといわれています。

